

イデックスオイルレポート ~For a week~

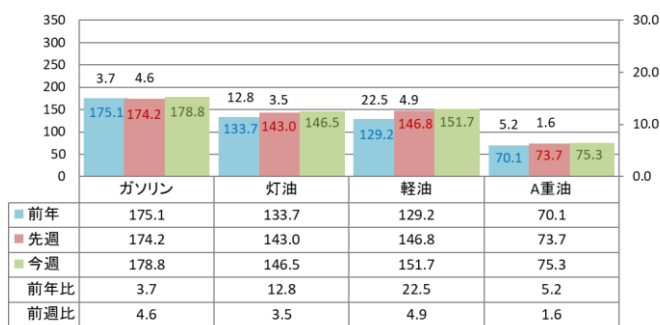
2021/4/16作成 (株)新出光

【概況】<上昇基調に転換>

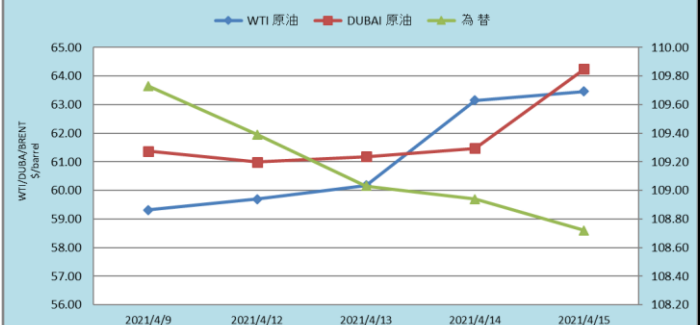
- 9日、欧州や南米を中心に新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、景気回復が遅れるとの観測からエネルギー需要見通しに警戒感が広がり、OPECプラスが5月から7月にかけて産油量を段階的に拡大する方針を決めたことも引き続き相場の重しとなりました。
- 12日、米国内での新型コロナウイルスワクチン接種拡大を背景とした景気の早期回復期待が朝方の買いを支援しています。また、サウジアラビアが内戦に軍事介入しているイエメンの親イラン武装組織フーシ派が、サウジアラムコの施設を標的に無人機17機とミサイル2発で攻撃したと主張したことを受け、需給引き締めによる買いも台頭しています。
- 13日、中国税関総署が13日発表した貿易統計によると、同国の輸入は前年同月比38%増で、4年1カ月ぶりの大幅な伸びとなりました。これを受け、エネルギー消費大国である中国の需要拡大期待が高まり、原油が買われています。石油輸出国機構(OPEC)が13日に発表した4月の月報で、今年の世界石油需要予想が上方修正されたことも支援材料となったようです。
- 14日、国際エネルギー機関(IEA)は14日公表の月報で「需給要因は明らかに力強さを増している」と指摘し、新型コロナウイルスのワクチン普及と石油輸出国機構(OPEC)主導の協調減産効果により、今年後半には世界の石油市場が需給均衡に向かうとの見通しを示しました。これをきっかけに早朝から原油買いが先行しています。前日発表されたOPEC月報で、今年の世界石油需要予想が上方修正されたことも引き続き支援要因となったようです。
- 15日、米エネルギー情報局(EIA)が午前中に発表した9日までの1週間の国内原油在庫は前週比590万バレル減となりました。市場予想の290万バレル減を上回る取り崩しで、東海岸の原油在庫は過去最低となった。大幅な原油在庫の減少が示されたこともあり、需給改善への期待が広がりました。3月の米小売売上高が前月比9.8%増と、市場予想を大幅に上回ったことを好感して原油相場も上昇しました。

4月16日 | 17:00現在 | WTI原油 | 63.45ドル | 為替 1ドル | 108.86円

国内石油製品在庫 4月10日時点 単位:万KL



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ 単位:円



次回元売変動予測

品目	4/22~	元売変動予測
ガソリン	➡	+1.0~+1.5
灯油	➡	+1.0~+1.5
軽油	➡	+1.0~+1.5
A重油	➡	+1.0~+1.5
LSA	➡	+1.0~+1.5

【製品卸価格】<月間リンク玉の販売下げ止まり>

◀今週▶ 今週の元売り仕切り改定は「-1.5円」の値下げでした。先安を見込んで、月間リンクの玉を販売するディーラーが下げ足を早めていましたので、改定後の市況の下げは小幅に留まりました。ただ、その後原油相場が急騰したことにより、次回の元売り改定の値上げが見えてきたために、油槽所や月間リンク玉を扱うディーラーを中心に価格の引き上げが続いています。

◀4月17日以降▶ 来週の元売り改定は現状の原油コストで「+1.0~+1.5円」の値上げ予測です。今週元売り改定で仕切りが下がった後は、原油相場の上昇により、週決め玉が相場を形成しています。油槽所での値上げも進み、次回の改定が値上げになることから週末から仮需も起きています。次回の値上げまでは月間リンクの玉も売りづらい状況になるため、ここからのさらなる市況の下げは起こりづらいですが、改定後の22日以降は最後の枠消化で月間リンク玉での販売が進むと考えられますので、販売の厳しい状況になると思われれます。ただ灯油については、昨年の巣ごもり需要での枠を抱えたディーラーも多く、売り手市場となっており、価格の上昇は今後見込みづらいです。

※現段階の原油コストによる予想です。

【次世代エネルギー】<出光興産製油所構内での小型EV車の導入>

出光興産は4月12日、北海道製油所構内で使用する構内車両として、タジマモーターコーポレーションと出光興産の共同出資会社(株)出光タジマEVが開発した超小型EV「ジャイアン」計2台を導入したと発表しました。この車両は充電するカーポートの屋根に、子会社のソーラーフロンティアが開発したCIS太陽電池(銅・インジウム・セレンの3つの元素を主原料とする化合物半導体系太陽電池)を設置しており、製油所構内を再生可能エネルギーで走行する仕組みとなっています。この導入により、10°Cを下まわる北海道苫小牧市の気候下で、寒冷地における超小型EVの有効性や課題を検証するフィールド試験の実施にも活用されるとのことです。開発した(株)出光タジマEVはタジマモーターコーポレーショングループの車両設計技術と出光興産のSSネットワークおよび様々な素材開発技術を融合し、移動に関する多様な潜在ニーズに応える超小型EVを核とした、全く新しいカテゴリーのモビリティを提供していくとしています。